大道会グループのコミュニケーション情報誌

Live30

[ライブ・サーティー]

http://www.omichikai.or.jp

VOL. 227

2018年
春号

CLOSE UP
平成30年度新人教育集合研修を開催しました

OMICHI ACADEMY
第41回世界病院学会
real-time functional imaging and
neurofeedback conference 2017 (rtFIN2017)
CPAC 2017

OMICHI SCRAMBLE
第8回脳性まひ講演会開催
IAEA代表団が森之宮クリニックを見学しました

INFORMATION
入職医師・歯科医師のご紹介
介護老人保健施設グリーンライフの内装が新しくなりました

The Prize for Best Healthcare Infomagazine
最優秀賞
★2002★
最優秀賞
「Live30」
貴誌は第2回BHI賞において
最も優秀であったことを認め、
BHIマークを贈ります
日本HIS研究会

平成30年4月に大道会へ入職した74名の新人職員を対象に「新人教育集合研修」を開催。
研修の目的やプログラム内容をご紹介します。

平成30年度 新人教育集合研修を開催しました

3月27日～30日の4日間、平成30年度新人教育集合研修を開催しました。本研修は、新人職員がスムーズに現場で業務に取り組めるように30年以上前から毎年実施しており、大道会職員として働く上で必要な知識、スキル、考え方等、幅広い分野の内容を学びます。

今回の特集では、「経営層から新人職員へのメッセージ」、「新生ボバース記念病院が目指すもの」、「大道会在宅事業部の現状と将来展望」、「課題解決トレーナーによるグループワーク」の4つのプログラムに注目します。

経営層から新人職員へのメッセージ

本研修は、大道理事長の講義からスタートし、「経営トップから新人に望むこと」をテーマに、地域医療構想や大道会が地域とともに実施してきた取り組み、地域に応じた医療・介護・福祉の連携推進等、ヘルスケア分野を取り巻く現状や課題について解説がありました。「医療人としての覚悟を持ち、同期との関わりを大切にするように」と新人職員へ温かいメッセージを送りました。また、宮井副理事長からは、昨年森之宮病院で更新された病院機能評価や、リハビリテーション医療の実績・取り組み等の説明があり、森之宮病院のめざす方向を理解することができました。天野常務理事の講義では仕事の進め方における「PDCAサイクル」や、職業人生における「VSOPモデル」等、新人に求められるポイントを学びました。社会医療法人制度の概要では、認定される為の要件や果たすべき役割を知り、大道会の一員として自覚を持つことができました。

新生ボバース記念病院が目指すもの

ボバース記念病院荒井院長の講義では、ボバース記念病院の歴史や「障がい者リハビリテーション」を柱に、今年10月から始動する新生ボバース記念病院の紹介がありました。新病院では、小児期発症の神経疾患のある方を乳児から成人に至る生涯を通じて、継続的な医療を提供する脳性まひセンターに機能転換することが説明されました。また、大道会の強みであるリハビリテーション医療の特徴では、多職種との連携が必須で、組織全体で高度な専門知識や技術向上が求められる「究極のチーム医療」であることが理解できました。

ボバース記念病院の展望や医療職に必要な能力について学びました

大道会在宅事業部の現状と将来展望

在宅事業部の安井統括管理者の講義では、大道会における在宅事業の紹介があり、地域の介護サービスや事業所の役割について学びました。大道会の在宅事業部は、ケアプラン作成から訪問の看護・リハビリテーション・介護や入所・通所、福祉用具貸与・販売、住宅改修までを担っており、法人内の各専門職と連携することで看護・介護・福祉を一体的に提供できる体制であることが強みです。また、訪問看護ステーション拡大事業をはじめとした今後のビジョンに新人職員は興味深く耳を傾けていました。

課題解決トレーナーによるグループワーク

医療組織で働く上で必要なコミュニケーションについて、法人内で養成した課題解決トレーナーによるグループワークが行われました。グループで役割分担を決め、協力し合ってゲームに挑戦したり、効果的なコミュニケーションの流れを学びました。特に、「ことば」、「話し方」、「ボディランゲージ」の講義では、好感を与えるボディランゲージを実際に取り入れてスピーチを行った結果、表現力を高める有効な手段であると理解しました。

その他、5W2Hを意識した確認方法や伝え方を学び、今後もコミュニケーションの技術をしっかりと磨いて、患者さんやご家族、職員と信頼関係を築いていきたいと思います。

グループワークを通してコミュニケーション力の他に、協調性や積極的に行動を起こす大切さを学びました

新人研修を振り返って

今年度は、新たな試みとして、消防士の指導のもと、新人職員全員が水消化器による消火訓練を行い、防災に対する意識を高めることができました。また、法人の概要や基本的なビジネスマナーだけでなく、自分の役割を認識し、設定した目標に向かって前向きに取り組んでほしいという思いも込めて実施しています。多職種連携が必須なヘルスケア分野において、同期と横の連携を作り、それぞれの現場で活躍してくれることを期待しています。

平成30年度新人教育集合研修プログラム

	3月27日(火)	3月28日(水)	3月29日(木)	3月30日(金)
研修内容・講師	入職式 人事課オリエンテーション (新人研修を受講するにあたって) 大道理事長 「経営トップから 新人に望むこと」 ボバース記念病院 荒井院長 「新生ボバース 記念病院が目指すもの」 森之宮クリニック 上田部長 「PETとは -我が国初の官民協調事業-」 大道クリニック 片山事務長 「人工透析・SASについて」 帝国ホテルクリニック 沖永医長 「メンタルヘルスケアについて」	森之宮病院事務部 理事長秘書 医療コンシェルジュ　川谷主任 「接遇講習～敬語の使い方～」 -社会人の基本- 森之宮病院歯科診療部 旭部長 「両病院歯科の特長・強み」 本部管理部 井山管理部長 「大道会未来創造 プロジェクトの取組み」 森之宮病院事務部 水谷課長 「診療報酬・保険のしくみ ～あなたが受診するときのために～」 森之宮クリニック企画広報部 医療コンシェルジュ 荒木課長 「接遇講習～患者と顧客対応の 実践～」-社会人の基本- 本部渉外担当 峰部長 三登課長 「医療機関における防犯・防災について」 城東警察署生活安全課 及び 府警本部生活安全課　指導班 「防犯について」 城東消防署 「防犯について」	天野常務理事 「新人に望む10のポイント 社会医療法人の使命と役割」 森之宮病院看護部 正壽副部長 トレーナー講義① 「オリエンテーション」 森之宮病院リハビリテーション部 稲葉主任 介護老人保健施設 グリーンライフ 療養サービス部 岡田主任 トレーナー講義② 「コミュニケーションの 大切さとポイント」 森之宮病院リハビリテーション部 神尾主任 森之宮病院医療社会事業課 佐藤主任 トレーナー講義③ 「コミュニケーションの基礎」 トレーナー研修まとめ 森之宮病院 下里主任	宮井副理事長 「森之宮病院が 目指すもの」 医療社会事業課 藤井課長(MSW) 「地域包括ケアとは -大道会の地域支援事業-」 森之宮病院看護部 感染管理認定看護師 吉田科長 「院内感染について」 -ヘルスケア分野職員の心構え- 在宅事業部 安井統括管理者 「大道会在宅事業部の 現状と将来展望」 本部管理部人事課 上野課長 「個人情報保護、 就業規則、ハラスメント、 人権、社会保険について」 グリーンライフ 濱田施設長 「介護老人保健施設 グリーンライフについて」 互助会 蛯原会長(平成29年度会長) 「互助会活動について」 各施設に配属

(所属役職等は研修開催当時)

発表報告

第41回世界病院学会

森之宮病院
歯科診療部部長
旭 吉直

当院栄養サポートチームによる口腔内実態調査を発表

日程…平成29年11月7日～9日
場所…台北

平成29年11月7日～9日、台北で開催された第41回世界病院学会に参加し、Investigation by hospital dentists on oral problems of patients under the care of the nutrition support team in our hospital（当院栄養サポートチームによる管理中の患者に対して歯科医師が実施した口腔内実態調査）という演題をポスターで発表しました。

学会は超高層タワー Taipei 101の隣のTaipei International Convention Centerで盛大に開催されました。キャッチフレーズは「Patient-friendly and Smarter Healthcar」で、「患者に親しみやすい、もっとスマートな医療」という意味だと思います。台湾は情報産業に力を入れているので、「Smarter」という言葉には、ＩＴを駆使して、という意図があるのでしょう。開会式でも、物々しい警戒の中、副総統等政府関係者が壇上で挨拶し、台湾の医療情報産業への意気込みを感じさせました。

ポスターには発表時間が設けられておらず、休憩時間に何度も自分のポスターの横に立ちましたが、余り質問はありませんでした。

また今回の学会では、思いがけず経営者の会議に招待されて参加しました。中国、ブラジル、フィリピン等で幾つもの病院を経営しているオーナー達が、各国の情報交換をしていました。その他にもできる限り、色々な発表や講演を聞いて回りました。病院学会なので医療技術よりも管理システム等に関連した発表が多く、「value」、「outcome」、「cost」という言葉が飛び交い、ＩＴで効率を上げていかに価値の高い医療を提供するかということに焦点が当てられていました。企業展示もＩＴ関連が目立ち、開会式後の講演でも台湾の先進的な医療情報システムが紹介され、日本はこの分野では後進国になりつつあるのではないかと危機感を覚えました。効率的で高品質な医療を追求する各国の医療人の姿勢は学ぶべき点が多いと言えます。

発表報告

real-time functional imaging and neuro-feedback conference 2017 (rtFIN2017)

森之宮病院診療部
神経内科
藤本 宏明

ニューロフィードバックの効果について発表

日程…平成29年11月29日～12月1日
場所…奈良春日野国際フォーラム

少々長い名称の本会議ですが、２０１２年のチューリッヒ、２０１５年のフロリダに続き、今回が３回目で、奈良公園内の春日野国際フォーラムで開催されました。今回のテーマは、「先端的ニューロフィードバック（neurofeedback）に焦点をあて、臨床応用を目標に、その手法を国際標準化することで国際的な研究協力体制の確立を目指す」でした。

ニューロフィードバックとは、本来感知することが難しい脳活動変化をｆＭＲＩや脳波、近赤外分光法（ＮＩＲＳ）等の機器を用いて測定し、棒グラフや円の大きさ等のわかりやすい形で本人に提示することで（脳活動の「見える化」）、脳活動を自分の意思でコントロールできるように自主訓練するシステムです。これまでで最も多い約２８０名の研究者が世界中から集まり、３日間で約１８０の研究演題が出され、連日熱気にあふれていました。当院からは私と河野悌司医師が研究発表を行い、私は脊髄小脳変性症患者の姿勢バランス障害に対するニューロフィードバックの効果について発表しました。通常リハビリに加えて、ＮＩＲＳを用いたニューロフィードバック手法と歩行のイメージトレーニングを併用することによって特定部位の脳活動を上昇させることができ、姿勢バランスの改善促進が示唆されたという内容で、多くの研究者と活発な意見交換を行うことができました。脳卒中や他の神経変性疾患に対しても臨床応用が期待でき、多くの方の機能改善につなげられるよう、今後も臨床・研究ともに力を注いでいきたいと思います。

発表報告

CPAC 2017

森之宮病院診療部
循環器内科
名方 剛

カテーテル技術、知識を共有できる有意義な発表になった

日程…平成29年11月24日・25日
場所…愛知県豊橋市

本学会は下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療を中心とした心臓以外の大血管、末梢血管疾患に対する治療法を、国内有数の術者と豊橋ハートセンターの術者のカテーテル技術、知識を共有、学べる学会です。

私は、メイン会場のセッション Complication of the Yearで「あっ！やばい！ステントが…」というタイトルで発表を行いました。腸骨動脈領域の治療において、血管内に挿入したシース内でステントの一部分が展開してしまった時、ステントが伸

びる現象が起こったので、そのメカニズムと回避方法について、1症例を紹介しました。左外腸骨動脈の狭窄に対して、通常の手技通りに左総大腿動脈からシースを挿入し、狭窄病変をバルーンで拡張後にステントを展開しました。その時にステントの一部がシース内で展開してしまい、それを解除するために、シースを手前に引いてくるとシース内でステントが引っかかりステントが伸びてしまう現象が起こりました。そのメカニズムと回避方法について、腸骨動脈領域の各社のステント(7種類)を、体外の血管モデル(2型)で検証した結果、同様の条件下で伸びるステント、伸びないステントがある事が分かりました。次に、伸びる現象が起こった場合の回避方法についても同様の体外モデルで検証を行い、その症例で行った回避方法と同様の方法を、体外モデルでも安全に、種類に関係なくできることを証明しました。今回の、カテーテル治療の手技において誰にでも起こりうる状況での、合併症が起こる手前の段階でメカニズムと正確な回避方法の発表に対して、会場のコメンテーターからの同意が多く得られ、大変有意義な発表となりました。

参加報告

平成29年度下半期 新主任昇進者研修会

日程…平成29年11月27日
場所…大道クリニック

大道会では管理職に必須のヘルスケア分野に関する知識の理解を深める為、昇進した新主任職を対象に昇進者研修会を実施しています。今回は平成29年10月に昇進した新主任8名が参加しました。

研修では天野常務理事が、普段知り得ない医療制度の歴史や先進国の具体的事例を交えて分かりやすく解説しました。また、職種や専門分野を離れ、組織人・中間管理職の在り方等、多くを学ぶ良い機会となりました。研修の概要と研修報告の一部を紹介します。

天野常務理事の講義を熱心に聞き入る新主任

テーマ

「我が国の医療介護政策の方向性と3C時代(競争・選択・淘汰)の役職者の対応」

講義のポイント

①先進国のヘルスケア分野「医療・保健・福祉」の潮流
②我が国、社会保障制度の現状と課題、将来展望
③大道会グループの目指す方向
④役職者の使命(ミッション)
⑤ピンチ(危機)はチャンス(好機)の積極思想で

森之宮病院
歯科診療部主任
浅尾 佳永子

主任としての大事な心構えを学ぶことができた

今回の研修では、「責任ではなく使命感で動く」と言うことが一番心に響きました。これまでは責任で動いており、「やらなきゃ」と捉えていましたが、大義、使命感(主任としてのミッション)と考え方を変えるだけで「やらなきゃ」より「ミッションを達成しよう」という前向きな気持ちに捉えることができ、考え方や捉えかたを変える事は今の私にとって、とても大事な事だと思いました。

また、医療関係で働いているにも関わらず、日本の病院の現状等、普段学ぶ機会がない話も多く、改めて自分の知識の無さを実感しました。歯科以外の分野も積極的に勉強し、社会医療法人や、ヘルスケアのこと等をもっと勉強したいと思いました。

研修を踏まえて、主任としてのミッションを達成できるよう日々努力し、一歩一歩成長していきたいです。

国の政策や経営戦略、管理職の役割等を学びました

本部管理部人事課主任
稲持 百瑛

管理職の役割をしっかりと意識して仕事に取り組みたい

「求められているのは優秀なリーダー(これまでの管理職と求められるリーダーの比較)」というテーマについての説明が最も印象に残りました。現在、私はまだ「責任で動く」姿勢であるため、「大義・使命感で動く」ことができるよう意識を変えていきたいと強く感じました。

また、「はじめて管理職になる方へ」で学んだ、「自分の役職の1つか2つ上の視点に立つことで仕事の全体像が良く見える」というアドバイスも印象的でした。今までは自身の業務で精一杯でしたが、余裕を持ち、全体を見渡せるように努力したいと思います。今後、管理職として役割を確立し、より成長できるよう、社会情勢及び法人の状況、人事業務についての学びを深め、視野を広げていく所存です。

法人全体

第8回脳性まひ講演会開催

1月20日、森之宮病院にて「乳幼児の脳性まひの診断と治療方法」をテーマに第8回脳性まひ講演会を行いました。今回の講師である森之宮病院小児神経科の北井医長、ボバース記念病院リハビリテーション部の永島教育主幹には、非常に分かりやすく、かつ有意義な講演を行って頂きました。74名もの方が参加され、最後まで熱心に話を聞いておられました。時間が押してしまうほど、多くの質問があり、講演終了後のアンケートでも「もっと聞きたい」というご意見を多数頂くほど、大盛況に終わりました。

今後も定期的に開催しますので、ぜひご参加下さい。

（森之宮病院事務部フロントサービス課　坂田康平）

脳性まひの診断と分類について解説する北井医師

法人全体

新人職員・2年目・3年目のフォローアップ研修を開催しました

大道会では、平成29年10月21日に、入職後6カ月が経過した新人職員、11月11日には2年目の職員、12月16日には3年目の職員を対象として本年度のフォローアップ研修を森之宮病院ウッディホールで開催しました。

新入職員は社会人に必要な文章作成入門から、日常の報告や説明の際に役立つ論理的な伝え方を学びました。2年目の職員は日々の業務で生じる課題や目標を達成するための手段を、3年目の職員は2年目研修で学んだことを振り返りながら、キャリアビジョンや後輩とのコミュニケーション等、徐々に責任が大きくなる3年目の職員に求められていることや目標設定について学びました。

今回の研修で学んだ事を生かして、今後も同期とともに力を合わせて自身を大きく伸ばしてほしいと思います。

（本部管理部人事課主任　大平剛士）

法人内の課題解決の講師である正壽副部長より仕事が充実する考え方やスキルを教わりました

森之宮クリニック

IAEA代表団が森之宮クリニックを見学しました

平成29年12月4～8日の日程で国際原子力機関（IAEA）は、大阪大学医学系研究科の協力の下、核医学に関する実技研修を実施することになり、イラク、イスラエル、ヨルダン、レバノン、カタール、シリア、インドネシア、バングラデシュ、マレーシア、モンゴル、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ミャンマー、ネパール、台湾の17カ国から31名の核医学者が参加しました。その中で、12月6日、テクニカルビジットに、核医学検査を行っている施設見学として森之宮クリニックが選ばれました。

17時過ぎに大型バスで一行が到着し、2グループに分かれて2F撮影室、4F読影室を見学されました。見学者の皆様から多くの質問が寄せられ、予定時間をはるかにオーバーする見学会でした。

また、31名に対して通訳者の同行が1名とのことで、森之宮病院事務部で英語の堪能な福井課員に応援を依頼し、注意事項の案内や誘導等に協力して頂きました。

（森之宮クリニック企画広報部課長　荒木美穂）

英語が飛び交う熱気に包まれた見学会でした

法人全体

スマートエイジングシティ具体化手法セミナー&3地域見学ツアー開催報告

平成29年11月28日、大阪府主催のイベント「スマートエイジングシティ具体化手法セミナー&3地域見学ツアー」で森之宮地域を担当しました。

河内長野・東淀川・森之宮の3地域をバスで移動し、各地の取り組みを見学する構成です。当地域では、講演会（大道理事長・城東区役所保健福祉課長）・福祉用具モデルルーム開設までの経緯説明・福祉用具モデルルーム見学の3つのコンテンツを提供しています。

当日は84名が参加され、河内長野発（1班）、森之宮発（2班）の2班で移動されました。各班4つのグループに分かれ、タイトなタイムスケジュールの中、見学して頂くにあたり、タイムキーパー・誘導係・講演見学担当・各会場係等、スタッフが適性に応じて役割を担い、細かに連絡を取り合って見学ツアーを成功させることができました。

参加者からは「講演を聞いて病院のリーダーシップに感銘を受けた」、「百聞は一見にしかず。モデルルームを普及させてほしい」等の感想が寄せられ、満足感は高かったようです。

これからも地域の声に耳を傾け、当地域のまちづくりの一翼を担っていきたいと思います。

（森之宮病院診療医療社会事業課副部長　藤井由記代）

地域包括ケアシステムにおける病院の役割について講演する大道理事長

森之宮病院

第11回森之宮病院登録医総会

1月27日、第11回森之宮病院登録医総会を帝国ホテル大阪で開催しました。当日は、登録医の先生方、当法人医師、職員、約77名にご参加頂きました。

開会の挨拶では、大道理事長より登録医の先生方との日頃の連携、特に入院患者の増加等、開院から12年間順調に経過してきたお礼を述べました。また、今後更なる連携を大事にしていきたいと考え、その一環としてＩＴを利用した「地域連携システム」の構築・運用開始についてお話し頂きました。

講演では、つつみクリニック院長の堤先生より「認知症の症候学の診療のポイント」について、グリーンライフ濱田施設長より「介護老人保健施設と認知症」について講演して頂きました。認知症の研究結果や特徴的な症状等の学術的な内容と、老人保健施設に入所される方の現状や具体的な症例等、どちらも患者さんの日頃の診療に役立つ内容であり、参加された先生方は熱心に聞き入っておられました。

その後、懇親会では城東区医師会副会長勝田先生に乾杯の挨拶を頂き、登録医の先生方と法人職員が、和気藹々と情報交換を行い、和やかな雰囲気の中、閉会となりました。

昨年の開院10年で一区切りを迎えましたが、また新たなスタートとして初心に戻りたいと思います。そして、地域の患者さん、登録医の先生方に頼りにして頂ける大道会を目指し、これからも地域連携に尽力をつくしていきたいと思っています。

（森之宮病院診療部地域医療連携室課長　杉浦美保）

今後も登録医の先生方と連携を強め、地域の患者さんの為により良い地域医療体制を実現していきます

入職医師・歯科医師のご紹介

森之宮病院に医師6名と、歯科医師1名が新たに4月より着任しました。心臓血管センター(心臓血管外科・循環器内科)は新たに2名加わり体制が強化され、その他、小児整形外科、小児神経科、歯科診療部にも医師が入職しました。今後とも、患者さんに寄り添った医療提供を心がけて参ります。受診をご希望の際は、森之宮病院にお気軽にご相談下さい。

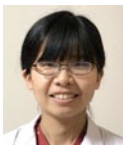
心臓血管センター
(心臓血管外科)
赤井 淳

心臓血管センター
(心臓血管外科)
木村 賢

小児整形外科
吹上 謙一

小児整形外科
奥野 杏子

小児神経科
水谷 聡志


小児神経科
廣恒 実加

歯科診療部
兵頭 美穂

介護老人保健施設グリーンライフの内装が新しくなりました

開設後、約20年が経過するグリーンライフでは、ご利用者の居室も生活での汚れや経年劣化による設備の破損等がみられ、ベッドの生活器具にも不具合が見受けられていました。ご利用者により良く過ごして頂く為、平成29年4月にベッド会社2社で計103台(施設全ベッド)の交換を実施しました。現在はご利用者の病状等に合わせてベッドを用意することが可能となり、快適なケアが行えるようになりました。

また、同時期に全体的な改修として、各居室を含めた施設内の壁紙とカーテンの全面刷新を行いました(平成27年～29年12月)。各フロアの雰囲気が大きく変わり、「きれいになった」、「清潔感が増した」とご利用者から好評です。今後もより良い施設運営に向け、ご利用者や地域の方が気持ちよく利用して頂ける施設にしていきたいと思います。
(介護老人保健施設グリーンライフ療養サービス部1科科長　上田正)

ご寄付・ご寄贈を頂きました

小倉彩子様(城東区)、よりご寄付・ご寄贈を頂きました。ありがとうございます。有意義に活用させて頂きます。

編集後記

新年度を迎える度に、身が引き締まると同時に何事も一生懸命頑張ろうという気持ちになります。大道会職員として患者の皆さんに安心して受診頂けるよう、笑顔で、親切丁寧な説明を心掛け、初心を忘れずこれからも取り組んでいきたいと思います。
(大道クリニック事務部事務サービス課　坂東利重)

Live30【ライブ・サーティー】
2018年春号
vol.227

編集発行人／社会医療法人大道会
〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-5-1
TEL.06(6962)9621
FAX.06(6963)2233

●本法人の経営理念
1. 社会から信頼される病院・施設づくり
2. 安定した経営基盤の確立
3. 職員の福祉向上と人材育成

●職員行動モットー
親切丁寧に(受診者・お客様・ご利用者)
待たさない／よく説明する／連携する

■社会医療法人大道会

社会医療法人大道会本部
☎06(6962)9621
森之宮病院
☎06(6969)0111
ボバース記念病院
☎06(6962)3131
森之宮クリニック(PET画像診断センター)
☎06(6981)9600
帝国ホテルクリニック(人間ドック)
☎06(6881)4000
大道クリニック(人工透析)
☎06(6961)5151
介護老人保健施設グリーンライフ
☎06(6965)0666
訪問看護ステーションおおみち
☎06(6967)1123
訪問看護ステーション東成おおみち
☎06(6977)8680
ケアプランセンター城東おおみち
☎06(6964)5285
ケアプランセンター東成おおみち
☎06(4259)5311
東中浜ケアプランセンター
☎06(6962)3777
レンタルケアおおみち
☎06(6967)6250

■社会福祉法人山水学園

特別養護老人ホームサンローズオオサカ
☎06(6974)7388
東成山水学園(保育園)
☎06(6974)7377